

		第	3	期		
東	海	市	総	合	戦	略

概要版

ともにつながり

笑顔と希望あふれるまち

とうかい



東海市 企画政策課
令和7年(2025年)11月時点

第1編 構想の位置づけ

① 総合戦略の目的

「まち・ひと・しごと創生法」〔平成26年(2014年)11月〕の制定以降、本市においても、平成27年(2015年)10月に第1期東海市総合戦略を、令和2年(2020年)3月に第2期東海市総合戦略をそれぞれ策定し、本市の立地特性を生かした「まち」づくり、子育て支援や健康支援、人材育成による「ひと」づくり、そして、にぎわいの創出・拡大による「しごと」づくりを進めてきました。また、令和5年(2023年)12月に閣議決定された「デジタル田園都市国家構想総合戦略(2023年改訂版)」では、デジタル技術を活用して地方創生を加速化・深化する考えが示され、令和7年(2025年)6月に閣議決定された「地方創生2.0基本構想」では、さらに「強い」経済と「豊かな」生活環境の基盤に支えられる多様性の好循環が「新しい日本・楽しい日本」を創ることとしています。

以上のような前提を踏まえ、国並びに愛知県の総合戦略を勘案しつつ、本市の地方創生に向けた目標、講ずべき施策に関する基本的方向、講ずべき施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項を取りまとめた、「第3期東海市総合戦略(以下「本戦略」という)」を策定し、令和8年(2026年)4月からスタートするものとします。

② 国の総合戦略の概要

本戦略の策定にあたり勘案すべき、「地方創生2.0基本構想」の基本的な考え方は以下のとおりです。

目指す姿 「強い」経済と「豊かな」生活環境の基盤に支えられる多様性の好循環が「新しい日本」を創る。

①「強い」経済			②「豊かな」生活環境			③「新しい日本・楽しい日本」		
●自立的で持続的に成長する「稼げる」経済の創出により、新たな人を呼び込み、強い地方経済を創出			●生きがいをもって働き、安心して暮らし続けられる生活環境を構築し、地方に新たな魅力と活力を創出			●若者や女性にも選ばれる地方、誰もが安心して暮らし続けられ、一人一人が幸せを実感できる地方を創出		
就業者1人当たり年間付加価値労働生産性を東京圏と同水準に など3つの目標			地域の買物環境の維持・向上を図る市町村の割合を10割に など5つの目標			魅力的な環境整備により、地方への若者の流れを2倍に など3つの目標		
関係人口を実人数1,000万人、延べ人数1億人創出			AIやデジタルを活用し、地域課題の解決を図る市町村の割合を10割に など3つの目標					

第2編 総論

① 東海市を取り巻く社会動向

本市を取り巻く社会動向として、以下の9つの視点を掲げます。

- | | |
|---|--|
| 1 | 全国的な人口減少と少子化・高齢化の進行 |
| 2 | SDGsの実現やカーボンニュートラルの推進による持続可能な社会に向けた取り組みの拡大 |
| 3 | 地域経済を取り巻く構造と企業に求められる役割の変化 |
| 4 | 新たな感染症の発生・拡大への対応 |
| 5 | リニア中央新幹線の開業と中部国際空港の増設滑走路による社会環境インパクト |
| 6 | 安心して暮らし続けられる地域づくり |
| 7 | 未来技術の導入と展開による社会変革 |
| 8 | 新たな生活様式と価値観の多様化への対応 |
| 9 | 市民や地域、団体、事業者など多様な主体との協働によるまちづくりの推進 |

② 東海市総合戦略策定の意義

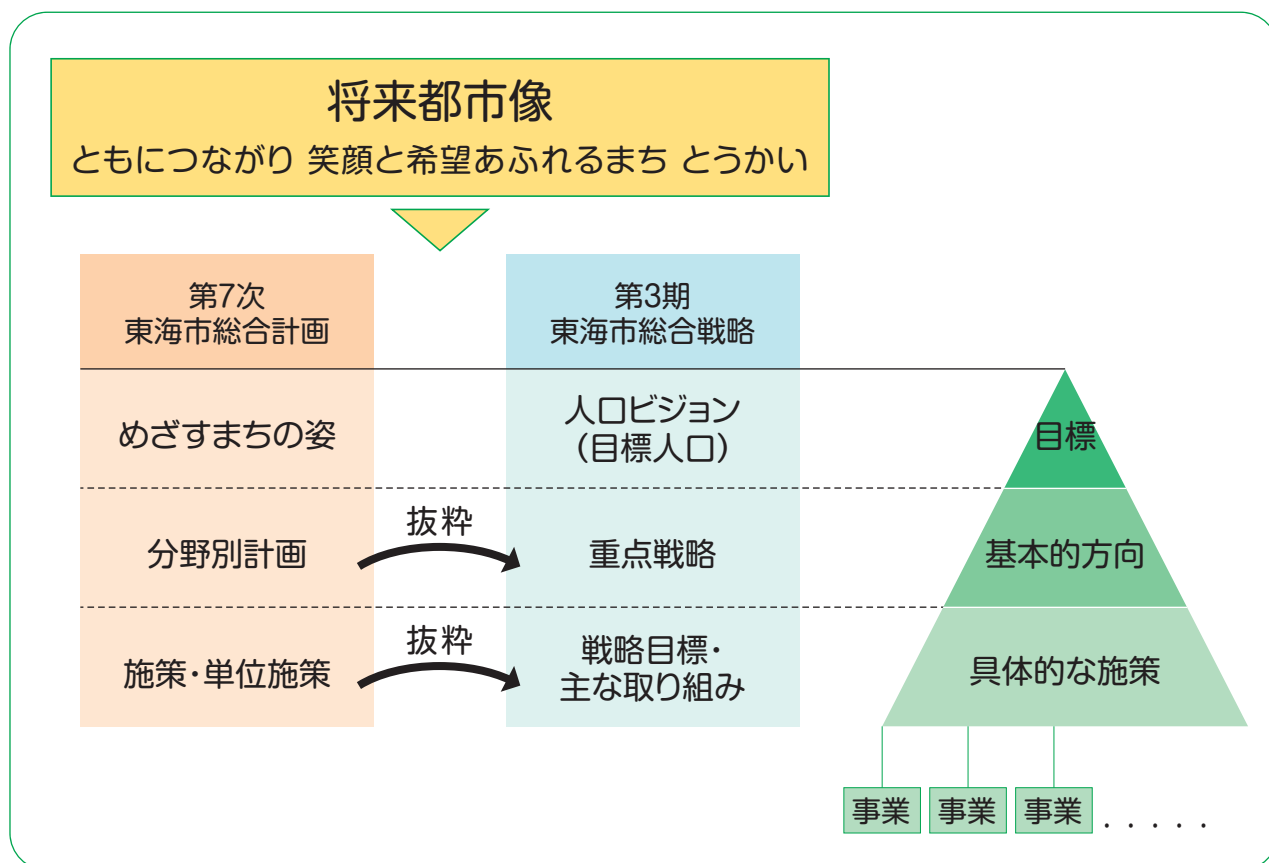
本戦略は、人口等の中長期的な将来を見据え、第7次総合計画や各種の個別計画との整合性を図りながら分野横断的、重点的に取り組む「戦略的なビジョン」として位置付け、本市の社会課題の解決と魅力向上に向け、「強い」経済と「豊かな」生活環境の基盤に支えられる多様性の好循環を生み出す取り組みを推進します。

③ 計画期間

本戦略の計画期間は令和8年度(2026年度)から令和10年度(2028年度)までの3年間とし、PDCAサイクルの確立により、本戦略の着実な実施並びに実施した施策・事業の効果検証を継続的に行うとともに、本戦略を必要に応じて見直すこととします。

④ 第7次総合計画と戦略との関連性

本戦略においては、令和6年(2024年)3月に策定した第7次総合計画が目指す将来都市像「ともにつながり 笑顔と希望あふれるまち とうかい」並びに各分野のめざすまちの姿の実現、人口ビジョン(目標人口)の達成に向けた施策・事業を展開することを目的に策定・推進します。



第 3 編 人 口 ビ ジ ョ ン

人口に関わる課題の整理

(1) 人口減少への対応

人口減少を見据え出生数の増加や転入促進を図る施策・事業に力を注ぐ一方で、効率的、効果的な行財政運営を進めていく必要があります。

(2) 超高齢社会への対応

超高齢社会がより一層進むにつれて、社会保障に係る費用が増大することになるため、健康寿命を延ばし、誰もが生涯にわたって、希望や生きがいを持って活躍できる社会づくりの構築や、人と人とのつながり、絆を大切にしたまちづくりが求められます。

(3) 少子化への対応

女性の未婚率は全国や愛知県に比べて低くなっているものの、男性の未婚率は全国に比べて高くなっています。今後は未婚化、晩婚化を解消し、結婚、出産・子育てがしやすい社会を作る取り組みを一層充実していくことが求められます。

(4) 世帯数増加への対応

世帯数は増加傾向にあり、高齢単独世帯や高齢夫婦世帯の割合が増えています。今後は空き家の流通促進やリノベーションなどの空き家対策及び活用への取り組みが求められます。

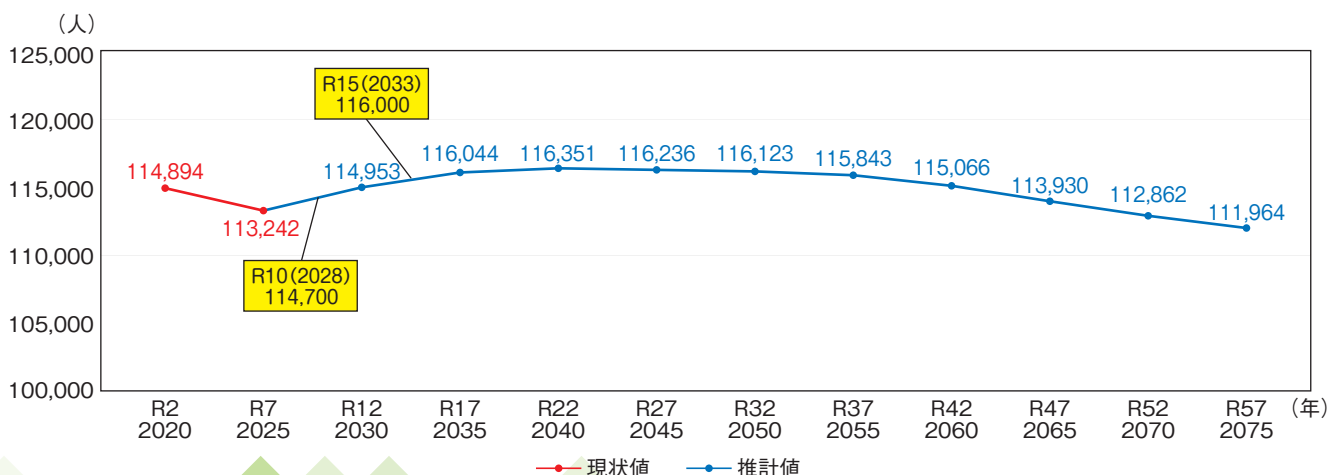
(5) 転入促進、転出抑制への対応

今後も本市に住んでみたいと選ばれるまちになるように、安心・安全で快適に暮らせるまち、子育てしやすいまちとして転出を抑制するとともに本市への転入を促進していくことが求められます。

(6) 労働力確保への対応

本市の生産年齢人口は、高齢化が進行するにつれて減少する可能性があります。外国人労働者を雇用する企業等が増えており、今後も特定技能外国人などの受け入れが進んでいくことが見込まれます。また、製造業以外の新たな産業の創出による女性活躍を推進する必要があります。

将来人口の展望



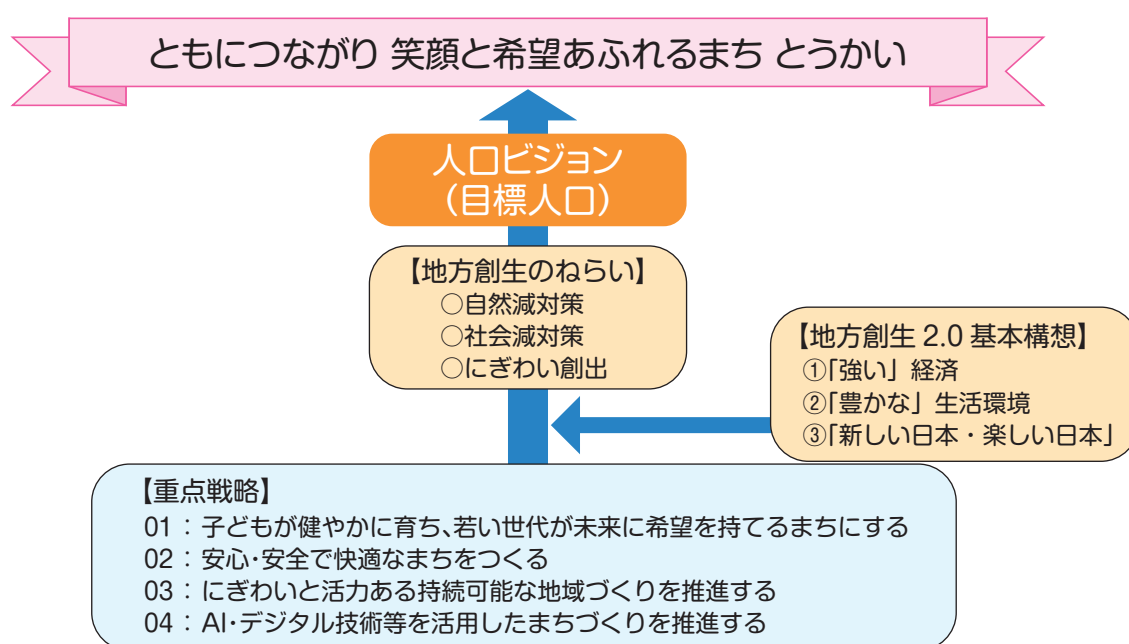
第4編 重点戦略

① 基本的な考え方

第7次総合計画の将来都市像と前編で設定した人口ビジョンに掲げる目標人口の双方を実現するため、人口の自然減・社会減の要因を解消すること、本市におけるにぎわいを創出することが求められます。

また、デジタルをはじめとした未来技術の積極的な活用、戦略的な魅力発信を通して、本市の魅力を高めるとともに、市内外のより多くの人々に周知を図ることが重要です。

したがって以下の図のとおり、重点戦略の取り組みを地方創生の視点を持ちながら推進することで、人口ビジョン(目標人口)を達成し、さらには第7次総合計画の将来都市像「ともにつながり 笑顔と希望あふれるまち とうかい」の実現につなげることを目指します。



② 地方創生のねらい

(1) 自然減対策

さまざまな分野の連携により一人ひとりの子どもが幸せになるよう切れ目のない支援を通して、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めます。

また、市民一人ひとりが心身の健康を維持し、豊かな人生を送ることが出来る環境、加齢や障がいなどによる不自由さを抱えても、安心して暮らし続けられる環境を整備することで、健康長寿のまちづくりを進めます。

(2) 社会減対策

市民一人ひとりが充実した日々を送り、生活の質を高められるよう、地域社会の変化や特性に応じて、ともに支え合い、住み続けたいと思える地域社会づくりを進めます。

また、市外から多くの転入を促すため、本市の魅力を発信するとともに、安心・安全に日常生活を送ることができ、利便性が高く居心地の良い都市空間の形成を進めます。

(3) にぎわい創出

本市が有する地域資源の魅力向上などによる商業の振興や観光交流及び大都市近郊の特性を生かした農業の推進に取り組むとともに、デジタル人材の育成やスタートアップをはじめとする起業、市内事業所における事業承継などさまざまな支援を進めます。

③ 重点戦略の体系と取り組み

重点戦略 1 子どもが健やかに育ち、若い世代が未来に希望を持てるまちにする

「子育てするなら東海市」といわれるまちづくりを推進し、子どもや若い世代が安心して暮らせる環境を整備します。

切れ目のない子育て支援を強化し、学習環境の充実、スポーツや文化芸術に触れる機会を創出、また、安心して暮らせる住まいの確保にも取り組み、市民の豊かな生活を支えます。

<戦略目標>

- 1-1 子どもや子育て世代への支援
- 1-2 子どもの学び・体験への支援
- 1-3 スポーツの推進
- 1-4 文化芸術の推進
- 1-5 安心して暮らせる住まいの確保を推進する

重点戦略 2 安心・安全で快適なまちをつくる

市民の生命・財産・暮らしを守るため、災害に強いまちづくりを進めるとともに、新たな雇用の創出や定住・交流人口の拡大を目指し、社会インフラの着実な整備を進めます。

道路や駅周辺の面的整備などにより、利便性と安全性を高めるとともに、災害リスクの低減や快適な移動環境の実現に取り組み、市民が安心して暮らせる基盤を強化します。

<戦略目標>

- 2-1 防災・減災対策の推進
- 2-2 安全で快適な移動環境の整備

重点戦略 3 にぎわいと活力ある持続可能な地域づくりを推進する

地域資源を活かした観光や農作物のブランド化をはじめとした産業振興を図ります。

市民や地域、事業者と連携し「人と人とのつながり・絆」を大切にしたまちづくりを進めます。

多世代交流を促進し、にぎわいと活力に満ちた地域社会の実現を目指します。

自然と共生する持続可能な社会の実現を目指します。

<戦略目標>

- 3-1 自然と共生する持続可能な社会の実現
- 3-2 魅力ある農業の振興
- 3-3 活力ある商工業の振興
- 3-4 協働と尊重による地域社会づくりの推進

重点戦略 4 AI・デジタル技術等を活用したまちづくりを推進する

AI・デジタル技術をまちづくり全体に活用し、市民サービスの利便性向上を図ります。

本市の社会課題の解決と魅力向上の取り組みをAI・デジタル技術等を活用して推進し、だれもが豊かに暮らせる地域社会の実現を目指します。

<戦略目標>

- 4-1 自治体DXを推進する

第 3 期 東 海 市 総 合 戦 略 概要版

愛知県東海市 企画部企画政策課

〒476-8601 愛知県東海市中央町一丁目1番地

TEL 052-613-7575 TEL 0562-38-6204

E-mail kikaku@city.tokai.lg.jp

<http://www.city.tokai.aichi.jp/>

